

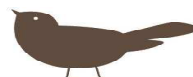
～全日赤女性委員会ニュース～

ファイト!!

No.2014-⑧

2015/5/8

全日本赤十字労働組合連合会



開催しました!

日赤女性交流集会 in上野

2015年4月25日(土)～26日(日)東京上野にて2014年度全日赤女性交流集会を開催しました。全国から17単組・本部併せ総勢33名の参加で、1泊2日を大いに楽しみました。

初日の鈴木演芸場では、柳家三三、春風亭一之輔、だるま食堂といった知る人ぞ知る実力派の噺家さんや芸人さんの落語や、コント、手品を堪能し時間を忘れ笑いました。

参加者のほとんどが寄席に来ることが初めてで、「又、自分でも来たい」「(日頃の)ストレスが取れた」と大好評でした。



驚きとショック!日頃食べている食品の実態は..。

2日目は農民連の八田研究員を講師に招き食の安全についての講義を行いました。

日本の食糧自給率の低さ(穀物26%※世界176ヶ国中127番)から、安全性の担保され無い食品輸入に頼らなければならない実態があります。 農民連食品分析センターでは中国産等の冷凍野菜(ファミレスや病院給食でも提供)に日本では禁止されている薬品や基準値を大幅に超える残留農薬が検出された実態を告発し、厚労省に実態把握を迫った実績があります(※冷凍野菜は最近まで"野菜"に分類されない為、厚労省の調査対象では無かった)。 フェイク食品、遺伝子組み換え食品、買い叩かれる国産農家…次々に明かされる日本の食糧事情は、「明日から何を食べれば…」と考え込んでしまうほど参加者がショックを受け考えさせられるものでした。 八田さんは「安全性を蔑ろにされるのは社会からの"安さ"の圧力が背景にある。"安い"だけで本当に大切なものを失っていないか」との強いメッセージで警鐘を鳴らされていました。

@フェイク食品 (本物に似せて作った偽物の食品)

